

2020年度

自治体学会総会（書面による会議）

1	評議員会審議結果について	1
2	議事	
(1)	議案審議	
	第1号議案 2019年度事業報告(案)	2
	第2号議案 2019年度決算報告(案)	8
	監査報告	11
	第3号議案 2020年度事業計画(案)	14
	第4号議案 2019年度収支予算(案)	16
	第5号議案 役員改選(案)	18
	第6号議案 規約改正(案)	20
(2)	監査意見及び学会運営課題への対応策について	(別冊資料)
	①監査意見及び学会運営課題への対応策について	
	②中期事業計画の策定について	
	③「監査意見及び学会運営課題への対応策について(案)」と 「中期事業計画(素案)と財政収支見通し(素案)」への意見募集について(報告)	
(3)	報告事項	
	①評議員会報告	21
	・細則改正について	
	・総会開催方法の変更について	
	②各部会報告	22
	③事務局報告	23
3	その他	

日時 2020年9月11日(金)～10月8日(木)

開催方法 書面会議による

2020年度第1回自治体学会評議員会の結果について

8月11日（火）から31日（月）まで、開催した評議員会において、第1号議案から第8号議案までを、慎重審議した結果、いずれの議案についても異議なく可決されました。

また、書面会議の意見募集の期間に寄せられた意見・質問と回答、Zoom会議おいての意見等については、下記の通りです。

1 書面会議の意見募集による意見・質問について

・意見募集期間（8月11日～18日）にいただいた意見・質問は、1名の方からの下記の2件です。

議案番号	意見・質問等	回 答
2	財産目録の最終行に「2019年4月以降決済済み」とあるのは「2020年～」のことかと思いますので修正をお願いします。	ご指摘の通り、記載ミスでしたので修正します。 また、財産目録の体裁を整えます。 (総会資料は修正済み)
2, 4	事務所の移転スパンをもう少し長くする方法はないのでしょうか？	2019年5月末の移転は貸主側からの契約終了のため、貸主側と条件等を交渉し、新たな事務所（神田司町2-19）に移転しましたが、その時に1年程度ということでありました。そのため、新たな貸主を紹介して頂き、ほぼ同条件で借りられる新たな事務所（神田美土代町3-4）に移転しました。ここは1年ごとの更新ですが一定期間借りられると考えています。
	賃料を節減できる場所は占有制限があるということかもしれませんが、事務所移転に伴う経費はないのでしょうか。	移転に伴う経費としては、2019年度は、事務用備品の処分費が殆ど、移転作業は人力で対応しました。 2020年度は、事務用の備品および消耗品の処分費と移転作業について近くの業者に委託しましたので、その経費が掛かります。予算的には、事務局経費のその他経費で見込んでいます。

2 Zoom会議による意見交換会における意見・質問について

・「Zoom会議による意見交換会」（8月22日（土）13時～）においては、第1号議案から第8号議案までの議案すべてにおいて、参加された評議員の方からはご意見ご質問はありませんでした。 但し、事務局より第5号議案役員改選案の監事の所属について一部修正の報告がありました。（総会資料は修正済み）

・監査意見及び学会運営課題への対応策については、金井理事長と小泉副理事長から次のような意見がありました。

金井理事長

・対応策の案については、会員のコンセンサスを広く得られるよう議論できればと思う。またCOVID-19のため、監査意見に対する検討に留まらない、想定外のオンライン化の流れがある。学会運営についても変化せざるを得ない。これが参加者増加などプラスになればよいが、関係が希薄になるなどマイナスとして働く要素もある。今後の運営を考える、一つのきっかけとしていけばよいと思う。

小泉副理事長

・このピンチをチャンスに変える発想が大事である。

・各部会報告については特に質問等はありませんでしたが、編集部会のコロナ事例についてのアンケートについて、再度の説明が求められ、中畠編集部部长から次のように説明がありました。

中畠編集部部长

・学会誌の企画として、新型コロナ対策事例について募集をしている。7件の応募があるが、もう少し協力をお願いしたいので、評議員会や学会会員のMLに再度投稿する予定である。

2019年度 自治体学会事業報告（案）

I 第33回自治体学会堺大会の開催

第33回自治体学会に先立ち、8月23日（金）に、第35回全国自治体政策研究交流会議が開催された。

今回は新たな試みとして、政策研究交流会議のあとに、連携を深める観点から、自治体学会の研究発表セッションと特別企画を開催した。その後の情報交換会は、堺市と自治体学会の共催で実施し、その冒頭で自治体学会賞表彰式を行った。

- ① 日時：2019年8月23日（金） 16:15～17:45
24日（土） 9:30～15:45

② 会場：堺市産業振興センター。但し23日の特別企画は、さかい新事業創造センター。

③ テーマ：次代の自治を創る力～自由・自治都市 堺から～

④ 参加者：約 320人

大会では、6つの研究発表セッションと特別企画、8つの分科会、ポスターセッション及び自治体学会賞表彰式を実施した。

⑤ 大会の概要

8月23日（金）

1 研究発表セッション（16:15～17:45）

セッションA	まちづくり	発表3件
セッションB	SDGs・グリーン経済	発表3件
セッションC	政策法務	発表3件
セッションD	情報技術・情報システム、政策形成	発表3件
セッションE	議会、人材育成	発表2件
セッションF	地方独立行政法人・行政委員会	発表2件

2 特別企画（16:15～17:45）

自治体とものづくりと新事業創出を考える勉強会

3 自治体学会賞表彰式

田村明まちづくり賞：2件、自治体学研究奨励賞：1件

※受賞者はⅢ-3で紹介

8月24日（土）

4 分科会（午前の部 10:30～12:30 午後の部 13:45～15:45）

分科会1（地元企画）連携・協働と簡単に言うけれど！

～高齢化する泉北ニュータウンを中心に専門家からの発信

分科会2 無縁化時代の墓地行政～政策法務の視点から～

分科会3 「自治体戦略2040構想」をどう受け止めるのか？

～現場の視点を踏まえて～

分科会4（公募企画）ワカモノ×ヨソモノ＝職員の成長

～人材育成に必要なものとは？～

- 分科会 5 水をめぐる自治と責任 ～水道法改正を契機に考える～
- 分科会 6 沖縄・辺野古と日本の地方自治 ～憲法保障の視点で考える～
- 分科会 7 SDGs を問い直す/SDGs で問い直す ～自治体・地域社会の新しい未来～
- 分科会 8 IT・AI・ビッグデータと地域社会 ～「自治」の道具とするために～

5 ポスターセッション (23日 16:15～17:45、24日 9:45～15:45)

参加団体による展示及び資料の配布を通して参加者が交流・意見交換をできる場として開催。

参加団体：22 団体

6 エクスカーション

24日 Aコース 市民ボランティアガイドと巡る！堺臨海エリアと工場夜景バスツアーコース

25日 Bコース 堺の古墳と歴史を深く知る！仁徳天皇陵拝観とVR体験、お抹茶と博物館観覧コース

7 大会の詳細

大会の詳細は、学会誌 33-1 号（2019 年 11 月末発行）に記載。

II 総会・評議員会・理事会・部会等の開催

学会の運営等に関して各会議を開催した。

1 総会

2019 年 8 月 24 日（土）9:30～10:25 に堺市産業振興センター コンベンションホールで開催。

2018 年度事業報告案、2018 年度決算報告案、2019 年度事業計画案、2019 年度収支予算案及び規約改正案は、原案のとおり承認された。なお、決算については、監事より概ね適切に処理されているものの、効率性、透明性の確保の観点から改善の必要がある旨の報告があった。監査報告に基づき、特別財産基金のあり方や学会の運営体制の見直しなどについて意見が交わされ、今後の改善方策については、総務部会の協力のもと理事会で検討することとされた。

顧問の委嘱と 2020 年度の大会開催地について等の報告があった。

2 評議員会

① 2019 年 8 月 23 日（金） 12:00～13:15：堺市産業振興センター コンベンションホール

2018 年度事業報告案、2018 年度決算報告案、2019 年度事業計画案、2019 年度収支予算案及び規約改正案が協議され、原案のとおり総会に提案されることとなった。なお、監事より、決算について改善の必要がある旨の報告があり、特別財産基金や学会の運営体制などについて意見が交わされた。また、総会への報告事項等について確認された。

② 2020 年 3 月 5 日（木）～31 日（火）

2019 年度 2 回目の評議員会は、新型コロナウイルスの感染が広がる状況を受け、書面による会議の開催に変更した。

2019 年度事業報告案、2019 年度決算報告案、2020 年度事業計画案、2019 年度収支予算案及び役員推薦委員会の設置案が協議された。2020 年度熊本大会の企画案や事務所移転等について報告された。

監査意見及び学会運営課題への対応案について、意見募集を行った。

3 理事会

- ① 2019年7月7日（日） 於：学会事務所会議室
総会提出議案について協議、検討。各部会からの報告。
- ② 2019年12月22日（日） 於：学会事務所会議室
監査意見及び学会運営課題への対応策について協議、検討。各部会からの報告。2021年度大会開催地等について。
- ③ 2020年2月24日（月） 於：東京大学総合研究棟5階研究会室
監査意見及び学会運営課題への対応策について協議、検討。評議員会提出議題について協議、検討。
各部会からの報告。事務所移転について協議、検討。
新型コロナウイルスの感染が広がる状況を受け、3月14日開催の評議員会の、東京での開催を取りやめ、書面による会議開催を決定。

4 企画部会

堺大会の開催内容の協議、検討。

- ① 2019年5月26日（日） 於：堺市役所内会議室
- ② 2019年8月23日（金） 於：堺市産業振興センター コンベンションホール
熊本大会の企画内容について協議検討。
- ① 2019年12月7日（土） 於：東洋大学白山キャンパス6号館4階6406教室
- ② 2020年1月25日（土） 於：熊本市役所内会議室
- ③ 2020年2月22日（土） 於：メーリングリストでの開催
- ④ 2020年3月20日（金） 於：九州大学東京オフィス会議室
参考（堺大会の企画内容について協議検討。）
- ① 2018年12月9日（日） 於：法政大学富士見校舎
- ② 2019年1月14日（月） 於：堺市役所内会議室
- ③ 2019年2月16日（土） 於：東洋大学白山キャンパス1号館1407教室
- ④ 2019年3月24日（日） 於：九州大学東京オフィス会議室

5 編集部会

学会誌の発行内容について協議、検討し、編集した。また、大会において学会誌を販売した。

- ① 2019年11月10日（日） 於：学会事務所会議室

6 地域支援部会

部会長は、田中富雄氏から、南部浩一氏に交代した。

メーリングリスト上で、次の事項について随時協議、検討し、決定した。

- ・自治体学会自治立志塾（集中講義）の企画開催等について
- ・自治体学会講演会の企画開催等について

7 研究支援部会

投稿論文に関して、投稿の促進を行うとともに、査読・修正・採否・学会誌での取扱い等について、メールを活用しながら審議を進めた。

- ① 論文応募についての促進活動
 - ・ 堺大会のポスターセッションへの参加

「研究論文を書こう！相談コーナー」を開設し、チラシ「研究論文を書こう！」を配布するとともに、大会参加者と論文作成について懇談を図った。
 - ・ 研究発表セッションにおけるコメンテーターとして参加
- ② 2019年9月5日（木）～14日（土） 査読結果をもとに論文審査。前期掲載論文の決定。
11件応募（再1件）。2件掲載。
- 2020年1月5日（日）～26日（日） 査読結果をもとに論文審査。後期掲載論文の決定。
14件応募（再4件）。4件掲載。

8 総務部会

資料作成、経理等の学会事務をサポートするとともに、会員管理、メーリングリスト・ホームページ管理の在り方について検討を行った。2019年度総会における監査意見及び学会運営課題への対応案について、協議、検討した。

また、総会、評議員会、理事会に同席し、議事録を作成した。

なお、2019年8月23日（金）（堺市）にオフ会を開催し、当面の課題について検討を行った。

9 学会賞委員会

第9回自治体学会賞の審査を行い、表彰者を決定した。

- ① 2019年6月16日（日） 於：学会事務所会議室
- ② 2019年7月14日（日） 於：学会事務所会議室

III 実施事業

1 自治体学会堺大会の開催

再掲（Iを参照）

2 学会誌の発行

- ① 学会誌 33-1号、1,700部を発行し（2019年11月）、全会員及び関係機関に配布した。
掲載内容：堺大会における、分科会、研究発表セッション、特別企画、ポスターセッション、学会賞等を報告。研究論文、研究ノートの掲載。
- ② 学会誌 33-2号、1,500部を発行し（2020年3月）、全会員及び関係機関に配布した。
掲載内容：特集「水とどう向き合うか～地域・自治体と「水」問題」他。研究論文、研究ノートの掲載。

3 学会賞の授与

2019年8月23日（金）に開催された自治体学会堺大会において、学会賞を下記の方々に授与した。

○田村明まちづくり賞

*受賞者：千里市民フォーラム

対象活動：ニュータウンにおける住民主導の多彩なプラットフォーム活動

*受賞者：コトラボ合同会社代表 岡部友彦

対象活動：地域資源を活用した各地における地域再生活動

○自治体学研究奨励賞

*受賞者：出雲明子

対象論文：働き方改革と公務労働－同一労働同一賃金による労働法と公務員法の接近－

4 研究活動への支援

会員の研究活動への支援（投稿論文の査読）。

○投稿論文の査読を実施し、掲載論文を決定した。

前期分（33-1号掲載） 投稿数 11件 掲載論文（研究論文1件 研究ノート1件）

後期分（33-2号掲載） 投稿数 14件 掲載論文（研究論文1件 研究ノート3件）

○ポスターセッションへの参加

堺大会ポスターセッションにおいて、冊子「研究論文を書こう！」を配布し、作成方法等の相談を行った（前掲Ⅱ-7-①を参照）。

○研究発表セッションの開催

堺大会における研究発表セッションでの研究発表 発表：16件

5 情報の収集と発信

○ホームページによる情報提供

事業に関する情報発信を随時行い、地域活動支援事業については、会員からの要望を受けてトップページに掲載した。

○情報の収集・提供

学会員の提供情報に基づき最新情報の収集・提供をした。

日本学術会議が公表する情報を会員に提供した。

○会員相互の情報交流

メーリングリストを運用し、会員間の情報交換を進めた。

6 地域活動への支援

① 2019年度北海道自治体学会政策シンポジウム

*申請者：北海道自治体学会（承諾評議員：安田あきの）

*開催日・会場：2019年5月25日（土）、北海道大学 学術交流会館 小講堂

② 2019自治体学会堺大会プレ大会

*申請者：堺大会プレ大会実行委員会（承諾評議員：田中優、松井美幸）

*開催日・会場：2019年5月25日（土）、堺市役所本館3階会議室

③ 2019年度東海自治体学研究会 「2040年自治体の未来はこう変わる」

*申請者：東海自治体学研究会（承諾評議員：加藤洋子、玉田直哉）

*開催日・会場：2019年7月13日（土）、ウインクあいち 11階1104会議室

④ 自治体法務合同研究会関西おおつ大会

*申請者：自治体法務合同研究会関西おおつ大会実行委員会（承諾評議員：坂居雅史）

*開催日・会場：2019年8月10日（土）11日（日）、ピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）

⑤ 近畿自治体学会 20 周年メモリアル座談会

*申請者：近畿自治体学会（承諾評議員：田中優、畑中久代）

*開催日・会場：2019 年 11 月 2 日（土）、PLP 会館

⑥ 北海道自治体学会地域フォーラム in きこない

*申請者：北海道自治体学会（承諾評議員：安田あきの）

*開催日・会場：2019 年 11 月 23 日（土）24 日（日）、木古内町中央公民館講堂

IV 事務局運営

2014 年 4 月 1 日から、東京都千代田区神田錦町 2-1 に事務局を移転し、学会事務を行っている。事務局について、貸主側から 2019 年 5 月末の契約終了の通知があったため、新たな事務所を検討し、6 月 1 日から、東京都千代田区神田司町 2-19 司 3331 202 号室に移転した。

事務局には、専従者 1 名（勤務日数：年間 80 日間程度）を含む 3 名を置き、総務部会員の協力を得て理事会との連携協力のもと事務局を運営した。

事務局の具体的な事務内容は、会員管理及び会計処理のほか、各部会の事務処理、総会・大会開催時の事務処理等である。

2019 年度 自治体学会 収支決算（案）

■ 収入の部

科目	2019 年度 予算額	2019 年度 決算額	差額	執行状況	摘要(実績)
	A	B	B-A		
	7,875,000	7,758,750	-116,250	98.5%	
会費収入	個人会員	6,825,000	6,813,750	-11,250	
	7,500円×900人(一般)	6,750,000	6,690,000	-60,000	892人分
	3,750円×20人(学生等)	75,000	123,750	48,750	33人分
	団体会員 53団体、70口	1,050,000	945,000	-105,000	15,000円x63口
参加費収入	930,000	1,074,000	144,000	115.5%	大会の参加費
会員 250人	750,000	654,000	-96,000		218人分
非会員 30人	180,000	420,000	240,000		70人分
情報交換会会費収入	1,000,000	1,105,000	105,000	110.5%	221人分
企画事業収入	150,000	0	-150,000	0.0%	実施せず
田村賞基金繰入金	200,000	230,371	30,371	115.2%	学会賞表彰経費を 基金より繰入
繰越金	1,741,576	1,741,576	0	100.0%	2018年度からの繰越
その他収入	173,424	292,530	119,106	168.7%	
広告収入	80,000	130,000	50,000		学会誌掲載の広告料
預金利息	424	16	-408		
チラシ封入収入	3,000	6,564	3,564		
学会誌販売収入	80,000	152,700	72,700		
印税収入	0	0	0		
その他雑収入	10,000	3,250	-6,750		
合計	12,070,000	12,202,227	132,227	101.1%	

自治体学会基金		7,321,383
田村賞基金		1,121,881

2019 年度 自治体学会 収支決算（案）

■支出の部

科目	2019年度予算額	2019年度決算額	差額	執行状況	摘要(実績)
	A	B	B-A		
	3,400,000	3,739,775	339,775	110.0%	
大会開催費	①大会開催費	1,400,000	1,644,516	244,516	堺大会
	印刷費	400,000	609,764	209,764	
	会場費	0	0	0	
	交通費	400,000	284,030	-115,970	
	通信費	100,000	109,991	9,991	
	その他	500,000	640,731	140,731	
	②企画部会費	1,000,000	999,069	-931	
③情報交換会費	1,000,000	1,096,190	96,190		
	2,260,000	1,817,540	-442,460	80.4%	
学会誌費	①学会誌発行費	2,160,000	1,802,000	-358,000	2回発行
	学会誌発行費	1,960,000	1,697,227	-262,773	
	学会誌発送費	200,000	104,773	-95,227	
	②編集部会費	100,000	15,540	-84,460	
	350,000	364,821	14,821	104.2%	
学術研究費	①田村明まちづくり賞関係費	200,000	230,371	30,371	
	②学会賞委員会費	100,000	129,800	29,800	
	③研究支援部会費	50,000	4,650	-45,350	
事業企画費	①自治体学講演会費	500,000	0	-500,000	0.0%
	②地域支援部会費	400,000	0	-400,000	
	100,000	0	-100,000		
広報費	①HP関係費	170,000	187,957	17,957	110.6%
	②通信費(回線使用料等)	50,000	52,293	2,293	
	120,000	135,664	15,664		
地域活動支援費	1,000,000	569,133	-430,867	56.9%	6団体を支援
	950,000	397,160	-552,840	41.8%	
総会・理事会・評議員会等費	①総会・監査経費	50,000	20,700	-29,300	3回開催 2回目は書面会議 2020年度に開催
	②理事会経費	200,000	361,420	161,420	
	③評議員会経費	600,000	15,040	-584,960	
	④役員推薦委員会経費	100,000	0	-100,000	
事務局運営費	①人件費	3,440,000	3,292,167	-147,833	95.7%
	②借上料等	2,150,000	1,927,780	-222,220	
	③通信運搬費	750,000	789,764	39,764	
	④印刷費	250,000	219,104	-30,896	
	⑤その他事務費	131,000	175,067	44,067	
	159,000	180,452	21,452		
予備費	0	0	0		
合計	12,070,000	10,368,553	-1,701,447	85.9%	

収入決算額	12,202,227	
支出決算額	10,368,553	
収支差額(次年度繰越金)	1,833,674	2020年度に繰越

単年度実質収支(収入決算額－前年度繰越金－支出決算額)	92,098
-----------------------------	--------

財 産 目 録(2020.3.31現在)

1 基金

三菱UFJ信託銀行	定期預金(220-90698101)	4,338,559 円
同	普通預金(220-2662385)	2
みずほ銀行	定期預金(024-6532923)	2,982,822
		7,321,383

2 田村賞基金

みずほ銀行	普通預金(024-2508203)	1,121,881 円
-------	-------------------	-------------

3 収支残金(2020年3月31日現在)

○三菱東京UFJ銀行八重洲通支店(022-2070008)		660,231 円
○三菱東京UFJ銀行八重洲通支店(022-0378416) * 振込専用		1,062,274
○ゆうちょ銀行中央湊郵便局(総合口座10190-2107891)		152,144
○中央湊郵便局 郵便振替口座(00210-9-40480)		758,020

○現金 6,355

① 合 計 2,639,024 円

○2020年3月31日現在前払費用及び未収入金

前払費用		0 円
未収入金		0 円

② 合 計 0 円

○2020年3月31日現在未払金等

未払費用	学会誌 編集・デザイン・校正費等	805,350 円 済
------	------------------	-------------

③ 合 計 805,350 円

○仮受金

預り金		0
-----	--	---

④ 合 計 0 円



2019年度残額 ①+②-③-④ 1,833,674 円

済:2020年4月以降決済済み

2020年8月5日

自治体学会理事長 金 井 利 之 様

自治体学会監事

矢島真知子 
飯川 齊 

2019年度自治体学会監査報告書

自治体学会規約第12条の規定により、2019年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の自治体学会の会計及び会務執行の監査を行いましたので、下記の通り報告します。

記

- 1 監査実施日時 2020年7月18日(土) 午後2時から4時まで(矢島監事)
2020年8月2日(日) 午後3時から6時まで(飯川監事)
- 2 監査実施場所 自治体学会事務局(矢島監事)
(東京都千代田区神田美土代町3-4 ニュー楓ビル8階)
飯川監事自宅(飯川監事)
(宮城県宮城郡松島町北小泉字芋沢46番地の1)
- 3 監査方法
2019年度の会計及び会務執行に関して、事務局より帳票及び調書に基づき説明を受けました。また、銀行通帳、郵便振替払受通知表、財産目録等の関係書類等を精査し、監査しました。なお、飯川監事については、書面のみで監査しました。
- 4 監査概要
2019年度の会計及び会務執行に関して、概ね適切に処理されておりました。なお、下の監査意見の通り、改善を要する事項が一点見受けられましたので、以後の事業実施の際は改善願います。また、2018年度監査報告書の監査意見に対する改善策につきましても、概ね妥当な内容だと思料致します。それぞれの改善案に関して監事としての見解を記載いたしますので、当該見解や総会における会員の皆様からの意見などを踏まえ、適切に改善を進めて行かれることを期待します。

5 監査意見

(1) 2019年度の会計及び会務執行について

2019年度決算報告書の収入の中の「その他収入」の「その他雑入」について、その一部に内容が不明な収入が見受けられましたが、その後の再精査の結果、「地域活動支援助成費」の戻入金であることが判明しました。改めて、報告書の保管を適正に行うことを徹底すべきと考えます。

また、今後とも、適切な会計処理の観点からも、地域活動終了後には、「自治体学会地域活動支援費の支出基準」に基づいて、速やかに精算報告を提出することを徹底すべきと考えます。

(2) 2018年度監査報告書の監査意見に対する改善策について

① 決裁・専決事項関係事項

支出何書の様式、専決権者（50万円以上の支出は理事長決裁、50万円未満の支出は事務局長専決、更に総務部会で事後確認）ともに、適切に改善されているものと考えます。今後も、内部統制を適切に実施されることを期待します。

② 契約の在り方

「10万円を超す支出に関するものは、必要に応じ、概ね5年を目途に見積りを取ることにする」ことは、適切であると考えます。その際に、「必要に応じ」の範囲を的確に解釈すること、5年ごとに見積りを取る際も、複数の者から見積書を徴取することが適当だと考えます。

③ 基金の在り方

「基金の在り方については、中期計画の検討結果も踏まえて、総会において意思決定すべきである」との執行部の見解に大いに賛同します。執行部で実施した意見募集の結果においても、総会で意思決定すべきとの意見が、複数の会員から寄せられました。このことから、2020年度予算案の提案に当たって策定された中期事業計画（中期の事業計画及び収支見通し）を踏まえ、当該基金の目的及び用途並びに適切な積立額の水準などの「基金の在り方」について執行部で整理して頂き、中期事業計画が決定された後の2021年度総会において意思決定することが、適切であるものと思料致します。

④ 中期事業計画

極めて的確な内容の中期事業計画案であると考えます。2020年度総会または2021年度総会において決定され、着実に実施されることを期待します。

- ⑤ 決算額超過
適切な改善策であると考えます。

- ⑥ 大会参加者の減免の在り方
来年度以降に検討するとのことですが、早期に検討を進めて頂き、その際には、免除の範囲の基準を明確に示すべきであると考えます。

- ⑦ 部会員数の在り方
細則規定の改正により、細則と企画部会員数との整合性が図られ、的確に改善されたと考えます。

- ⑧ 事務局職員報酬の決め方
事務局職員の報酬額が支出基準に明記され、明確に分かり易くなったことで、会員の理解も促進されたことにより、事務局体制の一層の安定につながったものと考えます。

- ⑨ 会計書類の保存方法
適切に改善されたものと考えます。

2020年度 自治体学会事業計画（案）

I 自治体学会大会 on the WEBの開催

第34回大会は、熊本県熊本市での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、地元関係者の意向もふまえて、慎重に協議・検討した結果、WEBを活用して開催する。企画実施は、企画部会が行う。

期 日：10月10日（土）

内 容：基調講演、シンポジウム1、シンポジウム2、自治体学会賞発表、総会報告

II 総会・評議員会・理事会・各部会等の開催

1 総会の開催

大会にあわせて、総会を開催する。2020年度の総会は、書面による会議とする。

2 評議員会・理事会等の開催

理事会及び評議員会を適宜開催する。大会時に開催している評議員会は、書面による会議とする。

学会事業実施のため、企画部会、編集部会、地域支援部会、研究支援部会、総務部会、学会賞委員会、役員推薦委員会等を適宜開催する。

III 事業の実施

1 学会誌の発行

当初、学会誌「自治体学」は、大会が10月開催のため、34-1号、34-2号の合併を予定していたが、大会がWEBによる開催となり、会員の交流の場が少なくなるので、その場を広げるため、通常通り2回発行し、会員全員に配布するとともに関係機関に配布する。

学会誌の編集は、編集部会が行う。

2 学会賞の授与

田村明まちづくり賞及び研究論文賞の募集を行い、優れた者を表彰する。あわせて、自治体学研究奨励賞も表彰する。選考は、学会賞委員会が行う。

3 研究活動への支援

会員から、研究論文及び研究ノートを募集し、投稿論文等について、査読員による査読結果をもとに、研究支援部会が、学会誌に掲載する研究論文、研究ノートを決定する。

4 学会の活性化を目指した事業の実施

自治体学会講演会等を地域支援部会が中心となって検討・実施する。

学会賞を受賞した“まちづくり活動”について、そのまちづくりを担う市民と連携し、現地を訪問し“まちづくり活動”を学ぶ事業を検討する。

新型コロナウイルス感染症のことを踏まえ、オンラインを活用した活動を検討する。

5 情報の提供、会員の交流促進

ホームページによる情報提供、メーリングリスト、会員名簿等を活用し、会員相互の交流に努める。なお、メーリングリストのサービスを契約している会社より、2021年6月30日でサービスを廃止されることから、代替え手段を検討する。

6 まちづくり活動への支援

(1) 地域活動の支援

会員が主体となって実施する地域活動のうちフォーラム等の開催及びその報告書の作成を支援する。

(2) 自治体学会の設立趣旨に適合する事業の名義後援

IV 運営

1 学会ガバナンスの確立

機能的・合理的・行動的でコンパクトな学会運営を行う。

安定的な学会活動のために、学会運営課題への対応を図るとともに中期事業計画の策定を検討する。また、各部会で事業の見直しを行う。

2 事務局の運営

総務部会は、事務局を補助する。

事務所について、貸主側との契約終了に伴い、移転する。

3 オンラインの活用の検討と実施

新型コロナウイルス感染症のことを踏まえ、オンラインを活用した会議等を進める。

2020 年度 自治体学会 収支予算 (案)

■ 収入の部

科目		2019 年度 予算額	2020 年度 予算額	差額	摘要
		A	B	B-A	
会費収入		7,875,000	7,605,000	-270,000	
	個人会員	6,825,000	6,675,000	-150,000	
	7,500円×880人(一般)	6,750,000	6,600,000	-150,000	現会員数:約1,000名
	3,750円×20人(学生等)	75,000	75,000	0	
団体会員	1,050,000	930,000	-120,000	15,000円×62口	
	53団体、62口			※19年度実績 63口	
参加費収入		930,000	295,000	-635,000	大会の参加費
	会員 250人	750,000	250,000	-500,000	1,000円×250人
	非会員 30人	180,000	45,000	-135,000	1,500円×30人
情報交換会会費収入		1,000,000	0	-1,000,000	実施しない
企画事業収入		150,000	150,000	0	講演会3回を想定
田村賞基金繰入金		200,000	200,000	0	
繰越金		1,741,576	1,833,674	92,098	
その他収入		173,424	173,326	-98	
	広告収入	80,000	80,000	0	
	預金利息	424	326	-98	
	チラシ封入収入	3,000	3,000	0	
	学会誌販売収入	80,000	80,000	0	
	印税収入	0	0	0	
	その他雑収入	10,000	10,000	0	
合計		12,070,000	10,257,000	-1,813,000	

a単年度実質収入見込額(予算額-繰越金)	8,423,326
b単年度実質支出見込額(予算額-予備費)	10,209,000
収支見込額(a-b)	-1,785,674

自治体学会基金	7,321,383
田村賞基金	1,121,881

2020 年度 自治体学会 収支予算（案）

■支出の部

科 目	2019年度予算額	2020年度予算額	差額	摘要	
	A	B	B-A		
	3,400,000	2,050,000	-1,350,000		
大会開催費	①大会開催費	1,400,000	1,050,000	-350,000	WEB大会
	印刷費	400,000	200,000	-200,000	
	会場費	0	50,000	50,000	
	交通費	400,000	200,000	-200,000	
	通信費	100,000	100,000	0	
	その他	500,000	500,000	0	
	②企画部会費	1,000,000	1,000,000	0	
③情報交換会費	1,000,000	0	-1,000,000		
	2,260,000	2,090,000	-170,000		
学会誌費	①学会誌発行費	2,160,000	2,060,000	-100,000	2回発行
	学会誌発行費	1,960,000	1,900,000	-60,000	
	学会誌発送費	200,000	160,000	-40,000	
	②編集部会費	100,000	30,000	-70,000	
	350,000	335,000	-15,000		
学術研究費	①田村明まちづくり賞関係費	200,000	200,000	0	
	②学会賞委員会費	100,000	100,000	0	
	③研究支援部会費	50,000	35,000	-15,000	
	500,000	350,000	-150,000		
事業企画費	①自治体学講演会費	400,000	300,000	-100,000	3回開催
	②地域支援部会費	100,000	50,000	-50,000	
	170,000	170,000	0		
広報費	①HP関係費	50,000	50,000	0	
	②通信費(回線使用料等)	120,000	120,000	0	
地域活動支援費	1,000,000	800,000	-200,000	8件	
	950,000	900,000	-50,000		
総会・理事会・評議員会等費	①総会・監査経費	50,000	40,000	-10,000	2回開催
	②理事会経費	200,000	200,000	0	
	③評議員会経費	600,000	500,000	-100,000	
	④役員推薦委員会経費	100,000	160,000	60,000	
	3,440,000	3,514,000	74,000		
事務局運営費	①人件費	2,150,000	2,050,000	-100,000	移転に伴う増 総会資料郵送の増 総会資料印刷の増
	②借上料等	750,000	800,000	50,000	
	③通信運搬費	250,000	350,000	100,000	
	④印刷費	131,000	200,000	69,000	
	⑤その他事務費	159,000	114,000	-45,000	
予備費	0	48,000	48,000		
合 計	12,070,000	10,257,000	-1,813,000		

第5号議案 役員改選案(評議員候補者名簿)

■評議員(地域選出 29人)

地域	氏名		性	所属	備考
北海道	石井 吉春	いしい よしはる	男	北海道大学	再任
2	安田 あきの	やすだ あきの	女	北海道庁	再任
東北	渡部 朋宏	わたなべ ともひろ	男	会津美里町役場	再任
3	岩間 望	いわま のぞみ	女	宮城県庁	再任
	佐藤 啓二	さとう けいじ	男	おいらせ町役場	再任
関東	中村 敏彦	なかむら としひこ	男	千葉県庁	再任
7	松本 敦司	まつもと あつし	男	内閣府	再任
	久保 真人	くぼ まさと	男	川崎市役所	再任
	岡田 淳志	おかだ あつし	男	伊勢崎市役所	新任
	高橋 良一	たかはし りょういち	男	武蔵野健康づくり事業団	新任
	須加 一昭	すか かずあき	男	鶴ヶ島市役所	新任
	早川 淳	はやかわ じゅん	男	渋谷区役所	新任
東海	加藤 洋子	かとう ようこ	女	多治見市役所	再任
2	中野 有美	なかの ゆみ	女	名古屋市役所	新任
近畿	松井 美幸	まつい みゆき	女	福知山市役所	再任
4	田中 優	たなか まさる	男	日本福祉大学	再任
	竹山 和弘	たけやま かずひろ	男	栗東市役所	新任
	田中 逸郎	たなか いつろう	男	NPO政策研究所	新任
北陸	山口 あけみ	やまぐち あけみ	女	越前市役所	再任
2	越 雄一	こし ゆういち	男	黒部市役所	再任
甲信越	小池 啓道	こいけ ひろみち	男	長野市役所	再任
2	熊谷 隆一	くまがい たかかず	男	山梨県立大学	再任
中国	長岡 智子	ながおか ともこ	女	島根県庁	再任
2	小林 昌樹	こばやし まさき	男	岡山市役所	新任
四国	近藤 誠	こんどう まこと	男	西条市役所	再任
1					
九州	黒田 伸太郎	くろだ しんたろう	男	菊陽町役場	再任
2	安達 由雅	あだち ゆか	女	福岡市役所	再任
沖縄	加藤 美奈子	かとう みなこ	女	沖縄県庁	新任
2	仲間 直樹	なかま なおき	男	沖縄県庁	新任

■評議員(全国選出 20人)

	氏名		性	所属	備考
1	阿部 昌樹	あべ まさき	男	大阪市立大学	再任
2	磯崎 初仁	いそざき はつひと	男	中央大学	再任
3	金井 利之	かない としゆき	男	東京大学	再任
4	国吉 直行	くによし なおゆき	男	横浜市立大学	再任
5	黒川 滋	くろかわ しげる	男	朝霞市議会議員	再任
6	小泉 秀樹	こいずみ ひでき	男	東京大学	再任
7	小林 華弥子	こばやし かやこ	女	GR Japan	再任
8	土山 希美枝	つちやま きみえ	女	龍谷大学	再任
9	高井 章博	たかい あきひろ	男	特定行政書士	再任
10	中島 いつみ	なかじま いつみ	女	(公財)後藤・安田記念東京都市研究所	再任
11	長野 基	ながの もとき	男	東京都立大学	再任
12	西村 幸夫	にしむら ゆきお	男	國學院大學	再任
13	沼尾 波子	ぬまお なみこ	女	東洋大学	再任
14	福田 利喜	ふくだ としき	男	陸前高田市議会議員	再任
15	前川 さゆり	まえかわ さゆり	女	堺市役所	再任
16	塩見 牧子	しおみ まきこ	女	生駒市議会議員	新任
17	嶋田 暁文	しまだ あきふみ	男	九州大学	新任
18	谷本 有美子	たにもと ゆみこ	女	法政大学	新任
19	友岡 一郎	ともおか いちろう	男	株式会社公職研	新任
20	前泊 美紀	まえどまり みき	女	那覇市議会議員	新任

■監事

	氏名		性	所属	備考
1	飯川 齊	いいかわ ひとし	男	宮城県庁	再任
2	大河巳渡子	おおかわ みとこ	女	前調布市議会議員	新任

第5号議案 (説明)

2019年度の第2回評議員会で設置の決まった役員推薦委員会は、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、第1回、第2回とも書面による会議で開催した。

第1回は2020年4月11日(土)から19日(日)に行い、中川委員長より、副委員長として青山委員が推薦され承認された。

2020年度役員推薦にあたって等を確認した後、「自治体学会次期役員候補の公募について(お願い)」(全会員対象)、「自治体学会次期役員候補者としての自薦他薦について」(評議員対象)の内容を確認し、この二つの文書については、4月25日付で案内した。

第2回は2020年6月21日(日)から25日(木)に行い、評議員の応募状況を確認し、その対応について協議した。

自薦・他薦のある評議員については、候補者として推薦することとした。

自薦・他薦のない地域選出評議員については、意向を事務局で確認することとした。

自薦・他薦のない全国選出評議員については、意向を確認するとともに、推薦委員会として推薦することもあると事前に通知していることから、継続を要請する評議員には文書等で依頼し、確認することとした。

また、監事については、継続性の観点から1名留任していただくこととした。

これらの結果、最終候補者名簿としてまとめた。

以上

第6号議案 規約改正案

規約改正案

旧	新
<p>第15条 学会事務を処理するため、下記に事務所を置く。</p> <p>〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-19 司3331 202号室</p> <p>附則 この規約は、昭和61年5月23日から施行する。 (1990年7月6日一部改正・同月7日施行) (2010年8月20日一部改正・即日施行) (2014年8月22日一部改正・同月25日施行) (2019年8月24日一部改正・即日施行)</p> <p>附則 (施行期日) この規約は、総会で議決された日[2019年8月24日] から施行する。</p>	<p>第15条 学会事務を処理するため、下記に事務所を置く。</p> <p><u>〒101-0053</u> <u>東京都千代田区神田美土代町3-4 ニュー楓ビル8F Gブース</u></p> <p>附則 この規約は、昭和61年5月23日から施行する。 (1990年7月6日一部改正・同月7日施行) (2010年8月20日一部改正・即日施行) (2014年8月22日一部改正・同月25日施行) (2019年8月24日一部改正・即日施行) <u>(2020年10月8日一部改正・即日施行)</u></p> <p>附則 (施行期日) この規約は、総会で議決された日[<u>2020年10月8日</u>] から施行する。</p>

評議員会報告

1) 細則改正について

旧	新
<p>5 部会 本会に企画部会、編集部会、地域支援部会、研究支援部会及び総務部会を置く。 各部会は、10名程度で構成する。</p>	<p>5 部会 本会に企画部会、編集部会、地域支援部会、研究支援部会及び総務部会を置く。 各部会は、10名程度で構成する。ただし、理事会の承認を得て、必要に応じた増減員を可とする。</p>
<p>1997年2月22日 一部改正 1999年8月20日 一部改正 2002年3月3日 一部改正 2005年4月1日 一部改正 2006年8月24日 一部改正 2007年2月25日 一部改正 2007年8月24日 一部改正 2008年3月1日 一部改正 2008年8月21日 一部改正 2009年8月20日 一部改正 2010年8月20日 一部改正 2011年10月8日 一部改正 2014年3月21日 一部改正 2014年8月21日 一部改正 2016年2月28日 一部改正</p>	<p>1997年2月22日 一部改正 1999年8月20日 一部改正 2002年3月3日 一部改正 2005年4月1日 一部改正 2006年8月24日 一部改正 2007年2月25日 一部改正 2007年8月24日 一部改正 2008年3月1日 一部改正 2008年8月21日 一部改正 2009年8月20日 一部改正 2010年8月20日 一部改正 2011年10月8日 一部改正 2014年3月21日 一部改正 2014年8月21日 一部改正 2016年2月28日 一部改正 2020年8月31日 一部改正</p>

2) 総会開催方法の変更について

1 提案内容

2020年度の自治体学会総会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、一堂に会する会議ではなく、書面による会議で開催する。

2 説明

自治体学会規約では、第16条1項において、「理事長は、毎年少なくとも1回総会を招集しなければならない」と規定されており、総会における議事は第19条1項において、「総会の議事は、出席者の過半数をもって決定する。」と規定されている。このことを踏まえると、総会是一堂に会する会議を想定しており、時期は各年の大会に合わせて開催するのが通例となっている。

2020年度については、大会がWEBを活用した大会のため、一堂に会する場合は設定できないので、書面による会議とするものである。

総会を書面による会議で行うことは、規約上定められていない。しかしながら、このことについて規約を改正するための総会の開催は、事実上行うことができない状況にある。

そのため、臨時的措置として、この提案を評議員会に諮り、評議員会の可決をもって、総会を書面会議で開催できるように、1のとおり提案するものである。

なお、今後今回のような状況が発生する可能性が予想されるため、総会を含めた会議の開催方法について、規約、細則に位置付けることを検討する。

各部会等報告

1 企画部会報告

- ・2020年度大会は、WEB大会に変更した。大会内容は、基調講演、シンポジウム1と2を予定している。申込み「こくちーず」などの、既存のシステムを活用することで進めている。大会の運営のために、当日は九大の東京オフィスをお借りする予定である。
- ・参加費については、会員1000円、非会員1500円とした。

2 編集部会報告

- ・当初は、大会が10月開催のため、学会誌は合併号を予定していたが、大会がWEBによる開催となるため、会員の交流の場を広げるため、34-1号と34-2号の2回の発行を予定している。34-1号はWEB大会の内容を中心に検討している。

3 地域支援部会報告

- ・岡崎先生の本の出版を記念した催しは、新型コロナウイルス感染症の状況が終息したら実施したいと考えている。
- ・立志塾については、西村先生にお願いする予定であるが、現在企画案を作成中である。
- ・“田村明まちづくり賞”の現地訪問の企画は、この状況でなかなか進んでいない。
- ・オンラインを活用した活動も検討している。

4 研究支援部会

- ・2020年度前半では、新規投稿が9件、最提出の投稿が3件ある。この中から、34-1号の掲載論文を選考する。
- ・学会誌に掲載された論文について、Jステージへの掲載は承認された。

5 学会賞について

- ・2020年度の応募・審査対象件数は次のとおりである。

田村明まちづくり賞	4件
研究論文賞	8件
自治体学研究奨励賞	2件

6 事務局報告

(1) 事務所について

・移転先

千代田区神田美土代町3-4 ニュー楓ビル 8F G

面積：6.8 m²

1か月基本使用料 67100円

(スペース代、月会費、消費税)

シェアオフィス。部屋は独立した空間ではない。

小会議であれば、シェアラウンジの会議室(10人程度)を借りることも可能である。

(2) 入会者および退会者について

個人会員について

- ・2020年度の入会者 現在まで 22人
- ・2020年度の退会者 現在まで 23人

団体会員

- ・2020年度入会 ドコモNTT 群馬支店